

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年11月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	日本ポート産業株式会社
所在地	〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町16番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 岡田 貢
担当者連絡先	電話：078-412-5541（担当：営業部 上出） メール：s.kamide@kobe-jpi.co.jp
ウェブサイトURL	<a href="https://www.kobe-jpi.co.jp/">https://www.kobe-jpi.co.jp/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、1973年に創業し冷凍冷蔵倉庫業を柱とし阪神港を中心に物流を支えております。また、スローガンに「世界の食材を、確かな冷凍冷蔵保管技術で」を掲げており、お預かりしている多くの貨物が輸入品となっております。本邦到着後に協力会社へ依頼しコンテナヤードからのコンテナ引取・輸送、デバンシング作業を行っており、輸出入業務、通関許可後の配達業務等も行っております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	自家消費型太陽光発電の導入によるCO <sub>2</sub> 排出の抑制を継続。	住吉倉庫 2020年導入（年間CO <sub>2</sub> 削減206t）、魚崎倉庫 2023年導入（年間CO <sub>2</sub> 削減236t）。
□環境 ✓社会 □経済	ペットボトル蓋とプルタブの回収活動。寄付をする事によりワクチンや車いすに換わり世界中の必要な方々へ届ける。	ペットボトル蓋=年間1回以上[世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)]に寄付。プルタブ=年間1回以上の寄付を継続する。
□環境 □社会 ✓経済	定期的な地域清掃実施。 全従業員参加の清掃活動。	毎朝の清掃以外に月一度会社周辺の清掃を実施（全社員年間3回以上の参加）。また、三工会(地域)主催のクリーン作戦に参加(年3回)を継続する。

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	雇用・教育・昇進・福利厚生等、雇用条件に差別がない体制を整えている						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	1)ハラスメント相談窓口の設置(管理部) 2)ハラスメント防止ポスターの掲示					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	1)勤怠管理システムを導入し、時間外労働を把握 2)安全衛生委員会にて各部署の時間外状況を報告 (月1回) 3)時差出勤の活用								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者に対し、教育訓練を実施(月1回)				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	1)安全パトロールの実施(月1回) 2)コンプライアンス委員会にてヒヤリハットの回覧(月1回)			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックを実施(年1回)			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	上記項目1.【差別の禁止】と同様に採用時も差別なく多様な人材を採用し、活躍できる環境整備に取り組んでいる				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	1)冷蔵倉庫協会の研修会等へ、積極的に参加 2)AE0の教育手順書に沿った教育及び訓練の実施 3)コンプライアンス教育及びテストの実施(月1回)			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	1)健康診断・歯科検診の実施(年1回) 2)健康経営優良法人取得の為、健康宣言実施 3)年2回(春・秋)ウォーキングキャンペーン実施			3				8										
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	1)廃棄物の分別(リサイクル対策) 2)昼食時のマイ箸・マイスプーンの使用 3)マニフェスト伝票管理											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	1)クールビズ・ウォームビズを実施 2)昼休みの消灯を実施 3)すべてLED照明							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	2020年、住吉倉庫に自家消費型太陽光発電を導入、2023年1月、魚崎倉庫にも導入し、排出量の削減を進めている						7.2 7.3					12.4	13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	1.環境に優しい高効率自然冷媒設備機器を導入 2.PCB含有製品の使用及び保管なし (2021年9月に専門業者にて処分済)			3.9			6.3				11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	浄化槽設備及び廃水除害設備の設置(住吉倉庫)						6.6									15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	クーリングタワー冷却水に水処理薬品を投入し、補給水量の削減と水質管理(住吉倉庫)						6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	グリーン経営認証取得(2020年8月)継続 (エネルギー効率の向上、廃棄物リサイクルの推進)		3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ポスター等を作成しエントランスや商談室に掲示											12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	自家消費型太陽光発電の導入(住吉・魚崎)						7.2					13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	1)自家消費型太陽光発電の導入(住吉・魚崎) 2)昼食時のマイ箸・マイスプーンの使用										12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	HACCPに則した管理をしている			3.9								12.4					
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	HACCPに則した管理をしている									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	冷凍機は全て自然冷媒を使用。地球温暖化を低減するノンフロン冷蔵倉庫を実現					6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	入出庫におけるトラック待機時間をデータ化・分析を行い、ドライバーの長時間労働及び、CO2排出量削減に取り組んでいる(コンテナ専用バスの併用、外での積込み等)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地域の食を支えている事業であることを認識し、「安心・信頼していただけるサービスの提供」を経営理念に基づき、心掛けている			4						9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	1)ペットボトル蓋とプルタブの回収活動を実施 2)三工会(地域)のクリーン作戦に参加(年3回)			4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	自家消費型太陽光発電の導入(住吉・魚崎)								8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	各部署の事務所へ経営理念を掲示し、社内で共有している								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	社内コンプライアンスマニュアル(令和4年度)を全社員に配布し共有化																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	SDGsグリーン経営委員会を発足(2021年12月) 2カ月に1回会議を行い活動している																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	経営目標に「お客様満足度の向上」「株主満足度の向上」「社会貢献度の向上」「社員満足度の向上」を掲げ、法とルールを守り、適切に対応している															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	コンプライアンス・リスク管理委員会を設置																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	三工会のクリーン作戦に参加(地域清掃／年3回)																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを策定(令和4年に改正)									9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	事業推進会議(月一回)・取締役会にて事業課題を常に確認し、検討・対策を行い、事業承継に取り組んでいる								8	9							17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
BELS(建築物省エネルギー性能)最高評価獲得	特定熱損失防止建築材料の使用																	

#### 【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。